

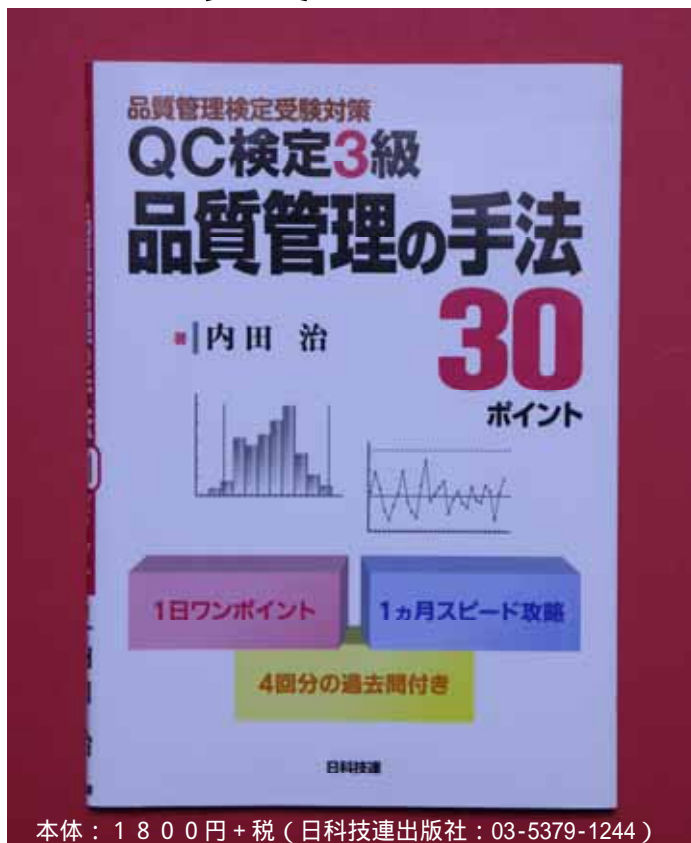


It's a *New* BOOK

発行：2011年9月20日（火曜日）
QCサークル京浜地区・顧問・前川 恒久

“問題解決に役立つ”図書

日科技連出版社から「問題解決」に役立つ本、ソクソク…… 品質管理検定受験対策“QC検定3級”に役立つ…… 「品質管理の手法」30 ポイント



本体：1800円＋税（日科技連出版社：03-5379-1244）

社団法人日本品質管理学会のTQE特別委員会は、一昨年改訂された“新学習指導要領”に示された「生きる力」「確かな学力、健康・体力、豊かな人間性」を身に付け、「問題解決能力」を向上させるための初等中等高等教育の支援を目指して活動しています。

ご紹介する日科技連出版社刊の内田治先生の著書「品質管理の手法30ポイント」は、半世紀以上にわたり産業界で活用されてきた「QC（品質管理）の手法」などを初めて学ぶ方や事務間接部門の皆さんの入門の際に役立つ本です。

「1日ワンポイント、1ヵ月スピード攻略、4回分の過去問付き」というサブタイトルのとおり、実に区切りが良く、通勤の往復などで読むのに適した本です。

- 第1章「データのとり方」
- 第2章「データのまとめ方」
- 第3章「QC七つ道具」
- 第4章「新QC七つ道具」
- 第5章「手法の利用」

という構成で、全く異分野の仕事に携わり「データってなんのことだろう？」「データの種類にはどのようなものがあるか？」と疑問をお持ちになった時、「品質管理の手法」のことを学びたいけど最初から難しい話という方など、幅広い分野の皆様役に立ちます。

タイトルには“品質管理検定受験対策”QC検定3級と唱っていますが、受験されない方にも頭を整理するのに最適です。

弁慶の七つ道具はご存じでも「QCの七つ道具」には縁の無かった方、「QC七つ道具」や「新QC七つ道具」の入り口で、イロハを知るには便利な本です。

TQE特別委員会が支援を考えている初等中等高等学校の皆さんが、「QC七つ道具」にはどんなものがあるのかをご理解頂く際にも役立つ内容です。

出版元である日科技連出版社からは「QC七つ道具」や「新QC七つ道具」、さらには問題解決のための手法に関する専門書がたくさん出版されていますが、まずはこの本で「品質管理の手法」にはどのようなものがあるのかを学んで頂き、次に専門的に深掘りされることをお奨めします。

先ずは一冊手にとってご覧下さい。

《明るく、楽しく、元気良く……QCサークル活動》

先にご紹介した《品質管理の実践》

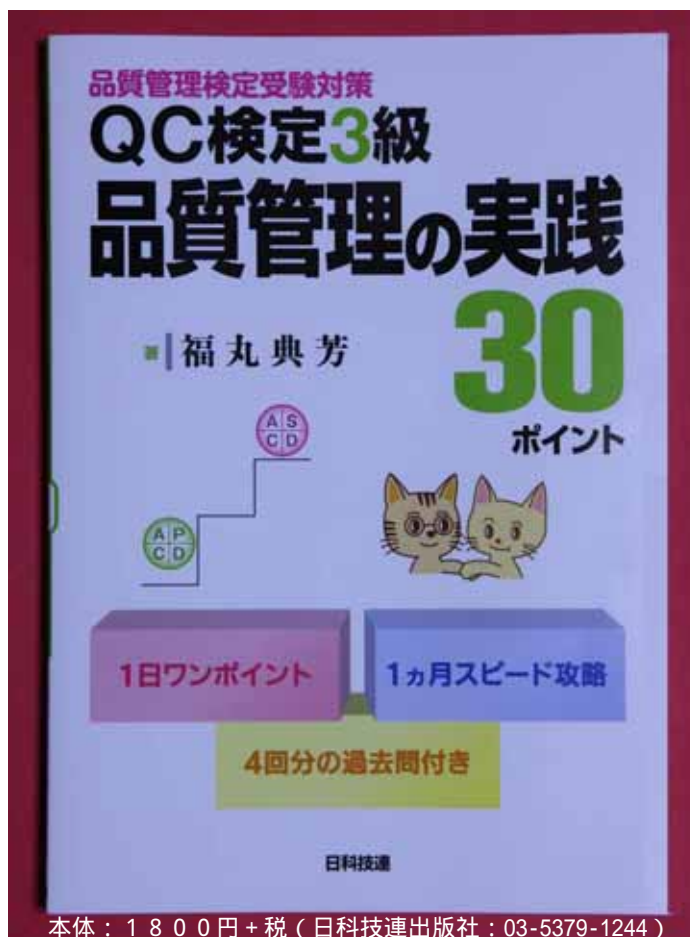
日科技連出版社から福丸典芳先生の新著

“問題解決力”の強化に役立つ品質管理の実践力

QC検定3級「品質管理の実践」

レベルの内容を凝縮

30ポイント



こちらの本は、8月10日に日科技連出版社から売り出された福丸典芳著「品質管理の実践」30ポイントは産業界で実際に使われている“品質管理”を理解するのにとても役立ちます。

前出の内田治先生の著書“QC検定3級”「品質管理の手法30ポイント」は「品質管理の手法」について、1日ワンポイント、1ヵ月間学んで30ポイントをしっかり学ぶことができるよう編集されていますが、本書も同様に1日わずか1ワンポイントを確実にマスターすれば、30日で自信を付けることができます。

著者の福丸典芳先生は、(社)日本品質管理学会の研究会活動などで幅広くご活躍ですが、常に実践的な品質管理活動を前面に本をお書きになっておられます。

福丸先生が書かれる一連の著書は大変解り易いのが特徴ですが、今回出版された「品質管理の実践」も同様で、サブタイトルに「QC検定3級を受験しようという皆さんのための“品質管理検定受験対策”」とありますが、読ませて頂くと改めて「品質管理」の基本を確認するのに役立つ本だと実感しました。

第1日目「品質第一」、第2日目「マーケットイン」、第3日目「顧客指向」と、一日一歩ならぬ一日一題、基本となる考え方をしっかり身に付けていけば、30日後には品質管理の世界で交わされていることばは確実に理解できるようになります。

1950年代、米国の自販機メーカーが「Quality First = 品質第一」を掲げて生産を行い、高品質の製品を世界に輸出していたのに対して「安かろう、悪かろう」の代名詞と言われたのが当時の日本製品であり、高品質の代名詞として君臨するまでには多くの苦難がありました。

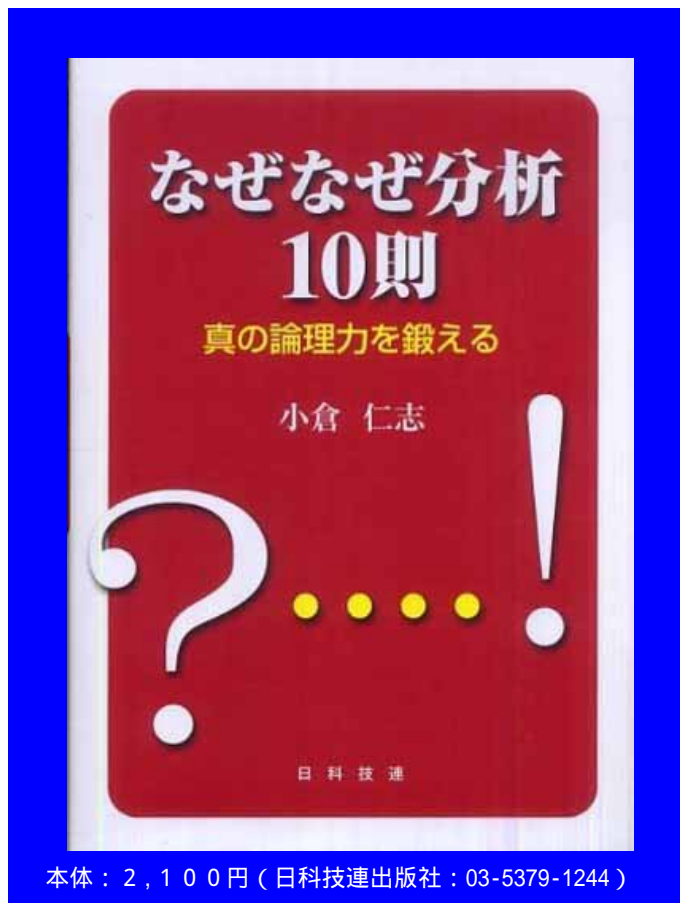
第二次世界大戦の敗戦国・日本は、デミング博士の指導に沿って「品質管理の基本」を学び、デミング博士の指導を実践して高品質の製品を製造、輸出して経済大国を実現し、現代の地位を確立しました。

ご紹介する3冊の本には、そこで活用された「品質管理の考え方」や「品質管理の手法」を産業界の第一線の現場で、そして品質管理の場面で実際にはどのように使われているのか、活かしているのか、その“考え方”などを理解するのに役立つ本ですので、ぜひお手にとってご覧下さい。

《明るく、楽しく、元気良く……QCサークル活動》

《職場の問題解決に役立つ本》

問題は発見しても“真因”に対策しなければ失敗する “問題解決”に不可欠な「問題の本当の原因」を捜し出す方法 小倉仁志著「なぜなぜ分析10則」



本体：2,100円（日科技連出版社：03-5379-1244）

「トヨタ生産方式」などで著名な大野耐一先生が、まだ躍進前のトヨタ自動車の生産ラインで次々と発生する問題の解決を行うためにいろいろ指導しておられたことを伝え聞きますが、そこで使われたのが「何故、何故、・・・何故」と「5回の何故をくりかえせば“真因”にたどり着ける」というものです。

問題解決を行う際に、表面的に原因と思われる現象に対策するだけでは、問題の本質的な解決にはなっていないため、また同様の問題を再発し、再びラインが止まってしまうという現実に業を煮やした結果、問題解決は“真因”を明確にし、その“真因”に対策するように指導されたといえます。

そうした「なぜ、なぜ」を解り易く解説し、使い易く指導したのがこの本です。

職場で問題が発生したので早速「何故その問題が起きたのか？」と職場の仲間が集まって議論をしてみたが、どうにも肝心の原因が具体的に解らない、といった経験は誰にでもあることだと思います。

そこで「なぜなぜ分析をしてみよう」と思いつくところまでは良いのですが、やってみるとこれまた上手く行かない、という経験もまたお持ちのことでしょう。

「なぜなぜ分析」何故は5回繰返せ！」など耳には馴染みの多いのですが、それがなかなか思い通りには行かないのです。

この本の構成は概ね次のとおり、

第1章 どこでも、どんなときにでも、真の論理力が求められる時代になってきた

第2章 真の論理力を鍛えて、職場の基盤を整えよう

第3章 確認すべき5つのポイント

第4章 「なぜなぜ分析10則」でねらいをはずさず、「なぜ」を展開しよう

第5章 「なぜなぜ分析」の進め方と分析シート

第6章 「なぜなぜ分析」実践上の注意点

第7章 「なぜなぜ分析」を活用し、職場の基盤を整えていく

「何も5回にこだわるな」とか、「トヨタが5回ならわが社では6回以上なぜを繰返せ」とか「なぜなぜ分析」には何故か逸話もたくさんあります。

「現場・現物・現実の三現主義で『なぜ』を検証する」要点ごとに具体的な例と図版を用いて解説されており、理解を助けます。

著者の小倉仁志先生は、他にも「なぜなぜ分析実践編」、「なぜなぜ分析徹底活用術」、「なぜなぜ分析徹底攻略ドリル」など、「なぜなぜ分析」に関する本をたくさん書かれていますので、ぜひ、お近くの本屋さんで一冊手にとってご覧下さい。

《職場の問題解決にも役立つ本》

クラスで“問題解決”ができない場合に役立つ……
“問題ありません？”…そこに問題が潜んでる？
森重裕二著「クラス会議で学級が変わる！」
諸富祥彦監修



本体：1800円＋税（明治図書）

こちらはちょっと毛色が違う本ですが、滋賀県の公立小学校の森重裕二先生が書かれ、諸富祥彦先生が監修された「クラス会議で学級が変わる！」です。

オーストリアの心理学者アルフレッドアドラー先生が提唱する「アドラー心理学」を用いて、小学校などで「クラス会議」を行い、潜在する問題を顕在化させることで問題の共有化を図ると同時に、解決策を議論させて問題解決を効率的に進めようというものです。

現実に、森重先生が担任をされているクラスでそれを実践し、効果を実感されたことから、この本を書くことになったと記されています。

私たちが企業内の職場で問題が不明確ながら、何か課題を解決したり、大きな目標を達成するために取組む際に、最初に使われる方法として「ブレinstoミング」や「ブレインライティング」などがありますが、小学校などで同様に何か問題を解決しようという場面では、まずは「クラス会議」を開催すると良いようです。

監修の諸富先生の言葉によれば、

毎日、朝の時間など、短時間で続けられるので、授業時間を削る必要はない。特別な勉強や資格を持っていない、普通の教師が誰にでもできる地道に短時間、毎日続けることで、確実にクラスが変わる！

教師が叱り飛ばさなくても子供たちが自分のルールを守る学級に自然になるお互いがお互いを認め合う、温かい雰囲気クラスになっていく

その結果、当然、いじめ、不登校、学級崩壊は無くなっていく！

と紹介されています。

ブレinstoミングやブレインライティングを行ったことがある皆さんなら経験がおありと思いますが、ディスカッションをしている内に、互いに相手の考えていることを理解し、問題の共有化が推進され、協力して問題解決に取り組むことで大きな効果が出てきます。

この本は、初等中等教育などでまさにそうしたプロセスを体験させ「問題解決の基本的アプローチ」を理解させるのに役立つのだらうと思います。

本の最後には、1年生から6年生まで、クラス会議を体験した生徒の皆さんからの体験談が紹介されています。

“いじめ”や“学級崩壊”など容易に解決できない問題を解決するのに、ぜひ、この本を参考にして頂いては如何でしょう。

《明るく、楽しく、元気良く……QCサークル活動》